

民俗芸能記録保存調査について

1 概要

- 地域の貴重な民俗芸能が失われないよう、現状等を記録することにより、県内の民俗芸能の保存・継承の基礎資料とするとともに、当該芸能の特色を明らかにすることで、神奈川の歴史や文化に対する関心を高め、県民の郷土に対する愛着を育むため、平成30年度から「民俗芸能記録保存調査」を実施している。
- 令和3年度に「鹿島踊（かしまおどり）※1」の調査を完了し、令和4年度から3年間かけ、「飴屋踊り、万作踊り（あめやおどり、まんさくおどり）」の調査を行ってきた。
- ※1 「鹿島踊」とは、神奈川県小田原市から静岡県東伊豆町にかけて相模湾沿岸部に20箇所ほど伝わる民俗芸能で、多くが黄金柄杓（こがねびしゃく）などと呼ばれる特別な採り物を中心に、白丁（はくちょう）姿の青年が長柄の幣（へい）を持って踊る。
- 調査は、学識経験者で構成する「企画調整委員会」による指導・助言のもと、民俗芸能等に精通する者等による「現地調査委員会」が実施。文献調査によって基礎的な情報や先行調査の収集を行うほか、現地での聞き取りや祭礼等における演技の取材などの調査を行い、当該芸能の詳細（由来、伝承組織、演目、衣装、音楽等）を記録した。
調査結果は報告書にまとめ、県ホームページで公表する。

2 令和4年度～6年度の調査

(1) 「飴屋踊り、万作踊り」について

「飴屋踊り、万作踊り」は、飴売りが伝えたという由来を持ち、手踊りと段物（だんもの）で構成されている。地域によって「粉屋踊り」とも呼ばれる。



手踊り「子守」（長井町飴屋踊り）



段物「五段目」（菊名の飴屋踊り）

(2) 調査対象

現在、県内で伝承している菊名の飴屋踊り（三浦市）ほか3箇所、及び休止となっている12箇所について、調査を実施した。

(3) 報告書概要

現地での聞き取り調査や、文献調査、残された写真やテープ類等の調査により、現行事例や伝承の状況を章立てにして報告する。

併せて衣装類の調査結果や台本、古写真等の画像資料なども掲載する。（詳細は別紙参考のとおり）

3 今後の調査について

(1) 令和7年度からの調査

「企画調整委員会」の指導・助言及び、伝承者や後継者の状況、保存団体間での連携の状況、緊急性等を勘案し、「一人立ち三匹獅子舞（ひとりだちさんびきししまい）※2」を調査対象とする。

※2 「一人立ち三匹獅子舞」は、関東地方を中心とした東日本に多く伝承されており、獅子頭を被った踊り手3名が胸に太鼓を掛けて踊る。



鳥屋の獅子舞（相模原市）



小向の獅子舞（川崎市）

(2) 今後の予定

令和7年3月	「飴屋踊り、万作踊り」記録保存調査結果概要及び 令和7年度以降の調査について文教常任委員会へ報告
同月末	記録保存調査報告書公表
4月	「一人立ち三匹獅子舞」の事前調査開始

報告書「かながわの飴屋踊り、万作踊り」について

1 章立てと内容（概要）

(1) 総論

報告書の導入部分として、飴屋踊り、万作踊りの歴史的考察や類似の民俗芸能との対比、更に本報告書で明らかになった調査成果を説明。

(2) 第一章「飴屋踊り、万作踊り」の現行事例

現在伝承されている飴屋踊り、万作踊りについて、地域ごとの特徴や芸能の概要、各演目の特徴や時代による変遷等を記述。

(3) 第二章「飴屋踊り、万作踊りの伝承」

休止・廃絶している飴屋踊り、万作踊りについて、現地での聞き取り調査や文献調査、残された写真やテープ類等の調査により明らかになった概要や休止に至った背景等を記述。

(4) 第三章「飴屋踊り、万作踊り」の衣装

現在伝承されている事例のほか、休止・廃絶している事例も含め、保管している衣装類の写真及び採寸データの一覧表を掲載し、染織分野の観点から技法や素材等について記述。

(5) 第四章「飴屋踊り、万作踊り」関係資料

芸能の特徴を如実に示す資料として、各地域に残る台本・記録類を中心とした文献資料のほか、古写真等の画像類を掲載。

2 報告書の主な特徴

現地調査、文献調査の成果を学術的にまとめた資料としてだけでなく、衣装の素材や様式について詳細に記録することで、当該民俗芸能の継承活動に必要な基礎資料としての特徴も兼ね備えている。

※ 紙面の都合で掲載できない資料は、付属する DVD に収録する予定。